

ロボット産業支える技術

さがみはらロボ協議会、共同出展

工業部会通信

相模原商工会議所
工業部会発行

編集
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL: 042 (851) 2021
FAX: 042 (851) 3532
プリントしてご自由にお読み下さい。

かながわ経済新聞
KANAKAKEI



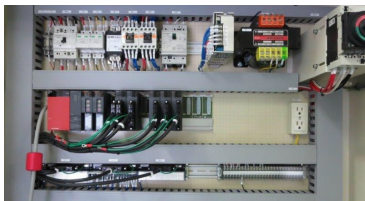
制御技術を活用した自動装置＝MEMOテクノス



精密位置決め技術「ピエゾアクチュエータ」＝コプト



浅海域向け小型軽量・低価格の潜水ロボット＝菅原モデル



FA設備の設計、製作を提案＝中村電機



「ライフサポートロボットテクノロジーデバイス」の研究開発＝永進テクノなど

録者、招待券持参者は入場無料。

「東ホール3」。事前登録者、招待券持参者は入場無料。

ロボットビジネス協議会が設立された。同業会議会は、企業や大学・研究機関、金融機関、行政が連携。「ロボット」を切り口にした新ビジネスの創出を目指している。

また、市内企業のなかでも、ロボットビジネス

に対する関心が高まっており、これまで培ってきた技術が、同分野に活用できないか模索する企業も増えているという。

なお、今回の「ジャパンロボットウィーク2014」は、計119社が出展、281小間が設けられる予定。

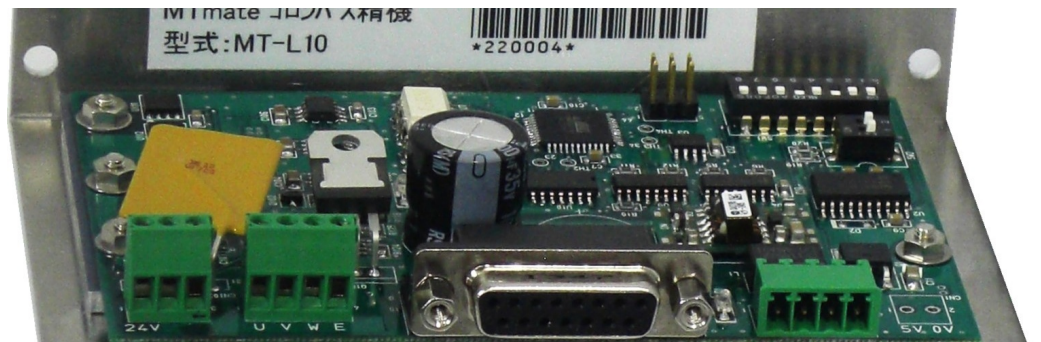
開催時間は午前10時～午後5時まで。会場は、東京ビッグサイト内の「東ホール3」。事前登録者、招待券持参者は入場無料。

ジャパンロボットウィーク

15日から

10月15～17日に東京ビッグサイトで開かれる「ジャパンロボットウィーク2014」に相模原市内の企業が共同出展する。「さがみロボット産業特区」を進める神奈川県内の企業ゾーンに相模原ブースを設置。出展する市内企業は7社と1つの共同プロジェクト。介護から宇宙までの幅広い分野で、これらのロボット産業を支える市内企業の技術力を広くアピールしていく。

「介護から宇宙まで」幅広い技術を展示



プログラム次第でどんなモータも自由に制御＝コロバス精機



マイクロ波を使用して脈、呼吸を検知するバイタル感知見守りシステム＝ミオ・コーポレーション



最新エンジンを1台から販売＝マルマテクニカ

「ロボット」テーマに八千代ビジネスクラブが交流会・・・八千代銀行の取引先企業などを一堂に集め、異業種交流やビジネスマッチングの場を提供する「第10回・八千代ビジネスクラブ会員交流会」がこのほど、相模原市南区で開催された。100を超える企業、機関が参加、活発な商談などが行われた。今回の個別相談企業は、アルプス技研グループ、東京ラチエーター製造、美都住販など計9社。それぞれ取引や受・発注を希望する地元企業

などと面談した。面談後、参加企業からは「念願の一部上場企業とアポイントが取れた」、「取引の可能性のある数社との出会いがあった」などの声があり、手応えを感じた様子だった。交流会では、大和ハウス工業の田中一正理事（ロボット事業推進室長）が講演。「介護・福祉ロボット市場の将来と課題」と題し、生活支援ロボットの最新事情も盛り込み、同社の取り組みについて話した。

広告

満55歳から80歳まで加入でき、満99歳まで保障。
神奈川県内の中小企業にお勤めの方・自営業の方、そのご家族まで加入できます。

もしものケガの備えに 月額保険料1,300円
祝寿共済保険
しゅくじゅ きょうさいほけん

はくじゅ **白寿** 1,300円
コース



家庭内事故は
交通事故の約2.7倍
(65歳以上の場合)

不慮の事故・交通事故による
ケガを24時間保障

ケガによる平均
入院日数は50.8日
(65歳以上の場合)

シニア世代の頼れるケガの保障

入院給付金	(事故日から180日以内) 1日につき	7,000円
手術給付金	1事故につき	50,000円
ひったくり 被害見舞金	1事故につき	50,000円
死亡保険金		300万円

*詳しくは資料をご請求ください。

福祉振興財団
一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団

●お問い合わせ・資料請求は
フリーダイヤル

0120-180890

祝寿共済 白寿 検索 FAX 0120-417045

〒231-8525 横浜市中区元浜町 4-32